

## 令和2年度 研修課程別実施内容

課程名	新任者[前期]		研修区分	職務基礎研修
研修目的	県及び市町の土木建設事業に携わる職員として、職務上必要な基礎的知識を修得する			
研修対象者	県・市町の新規採用土木職員等			
実施期間	令和2年7月20日(月)～21日(火)の2日間			
研修場所	山口県セミナーパーク 大研修室			
参加人員	43名(県20名、市町23名)			
研修科目	時間	講師		
設計書の構成と歩掛表の見方①②③④	10.5	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕		
土木事業と工事監督	1.0	(一財)山口県建設技術センター 課長 澤村 修司		

課程名	積算システム		研修区分	職務基礎研修
研修目的	積算業務を担当する職員として土木積算システムに関する基礎的知識を修得する			
研修対象者	県・市町の新規採用土木職員等			
実施期間	令和2年7月29日(水)・30日(木)・31日(金)の各1日間			
研修場所	山口県セミナーパーク 第1情報研修室			
参加人員	37名(県14名、市町23名)			
研修科目	時間	講師		
設計書作成(基本編)	2.0	富士通(株) 共通ソリューション事業本部 成田 茂生 第二ソリューション部 眞野 翼		
設計書作成(応用編)	1.5	富士通(株) 共通ソリューション事業本部 成田 茂生 第二ソリューション部 眞野 翼		
設計書作成演習	2.0	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕		

課程名	CAD①	研修区分	職務基礎研修
研修目的	土木技術職員として必要なCAD業務に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の新規採用土木職員等		
実施期間	令和2年8月4日(火)の1日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 第1情報研修室		
参加人員	13名(県13名、市町0名)		
	研 修 科 目	時 間	講 師
	山口県における各種電子データ活用の取組	0.5	山口県 技術管理課 技術指導班 主任 吉村 崇
	CADの概要 ～製図基準・電子納品の概要～	1.0	(株)ビッグバン 営業統括本部 児玉 光稔
	CADの操作演習(初級者コース)	3.5	(株)ビッグバン 営業統括本部 児玉 光稔

課程名	CAD②	研修区分	実務能力研修
研修目的	土木技術職員として必要なCAD業務に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年8月5日(水)の1日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 第1情報研修室		
参加人員	13名(県13名、市町0名)		
	研 修 科 目	時 間	講 師
	CADの操作演習(中級者)①	2.5	(株)ビッグバン 営業統括本部 児玉 光稔
	CADの操作演習(中級者)②	3.5	(株)ビッグバン 営業統括本部 児玉 光稔

課程名	建築工事監理研修	研修区分	独自研修
研修目的	建築業務を担当する職員として必要な知識を修得する		
研修対象者	県・市町の建築職員		
実施期間	令和2年8月18日(火)の1日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室101		
参加人員	36名(県15名、市町21名)		
研修科目	時間	講師	
公共建築とは	0.5	山口県 建築指導課 主査	宮繕調整班 十河 義典
公共建築工事の発注者の役割について	2.5	山口県 建築指導課 主査	宮繕調整班 十河 義典
公共建築工事標準仕様書・公共建築工事監理指針 及び工事監理について	2.0	山口県 建築指導課 主任	宮繕調整班 佐々木 伸幸
公共建築工事の完成検査等について	1.0	山口県 建築指導課 主査	宮繕第一班 田中 聡

課程名	災害復旧基礎	研修区分	職務基礎研修
研修目的	災害復旧業務を担当する職員として必要な基礎的知識を修得する		
研修対象者	県・市町の新規採用土木職員等		
実施期間	令和2年8月20日(木)～21日(金)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 大研修室		
参加人員	36名(県12名、市町24名)		
研修科目	時間	講師	
災害と災害復旧制度について	1.5	山口県 砂防課 主査	災害復旧班 伊藤 択治
災害復旧工法(河川、道路) 美しい山河を守る災害復旧基本方針 (AB表の作成)	2.0	山口県 砂防課 主査 技師	災害復旧班 石田 佳誠 比恵島 巨輝
査定設計書の作成演習 (1)作成要領 (2)工法検討、設計図面作成、工事費の積算、査定準備 (3)工法検討、設計図面作成、工事費の積算、査定準備 (4)模擬査定・グループ発表、質疑応答・講評	9.0	山口県 砂防課 主査 主査 技師	災害復旧班 伊藤 択治 石田 佳誠 比恵島 巨輝

課程名	積算技術	研修区分	管理能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な設計積算の技術に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が20年程度かつ若手職員へ指導・監督を行う職員等		
実施期間	令和2年8月27日(木)の1日間		
研修場所	山口県セミナーパーク セミナー室1		
参加人員	29名(県14名、市町15名)		
研修科目	時間	講師	
改正品確法の主旨を踏まえた取り組みについて ・発注関係事務の運用指針等	0.5	山口県 技術管理課 主査	技術指導班 水廣 都義
設計・契約変更ガイドライン等について ・ガイドライン策定の目的 ・基本的な考え方等	1.0	山口県 技術管理課 主査	技術指導班 竹之内 智
設計書作成について① ・設計図書の作成方法 ・設計図書等作成時の留意点	1.0	山口県 技術管理課 主任	技術指導班 中戸 諒
設計書作成について② ・最近の話題(新型コロナウイルス対策等)	1.0	山口県 技術管理課 主任技師	技術指導班 田中 洋充
設計書チェックのポイント ・ヒヤリ・ハット事例の紹介	1.0	山口県 技術管理課 主任	技術指導班 吉村 崇

課程名	道路実務	研修区分	実務能力研修
研修目的	道路業務を担当する土木技術職員として必要な基礎知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年9月8日(火)～9日(水)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室101		
参加人員	20名(県12名、市町8名)		
研修科目	時間	講師	
講話	0.5	山口県 道路建設課 建設班 主幹	菊田 武志
道路法について ～道路事業の流れ及び技術基準等～	1.0	山口県 道路建設課 建設班 主任	中村 裕樹
道路構造令及び条例について	1.0	山口県 道路建設課 建設班 技師	藤井 将矢
道路整備の目的及び効果事例について ～具体的事例を用いて～	1.0	山口県 道路建設課 建設班 主任技師	則近 英司
道路設計演習① ～道路設計計画の基礎～	2.0	山口県 道路建設課 建設班 主任 主任技師 技師	中村 裕樹 則近 英司 藤井 将矢
道路設計演習② ～道路設計計画の基礎～	3.0	山口県 道路建設課 建設班 主任 主任技師 技師	中村 裕樹 則近 英司 藤井 将矢
道路設計演習③ ～道路縦断・横断の設計～	1.0	山口県 道路建設課 建設班 主任 主任技師 技師	中村 裕樹 則近 英司 藤井 将矢
演習発表及び講評	2.0	山口県 道路建設課 建設班 主幹 主任 主任技師 技師	菊田 武志 中村 裕樹 則近 英司 藤井 将矢

課程名	新任者[後期]	研修区分	職務基礎研修
研修目的	県及び市町の土木建設事業に携わる職員として、職務上必要な基礎的知識を修得する		
研修対象者	県・市町の新規採用土木職員等		
実施期間	令和2年9月14日(月)～9月15日(火)の2日間		
研修場所	山口県教育会館 第1研修室		
参加人員	43名(県20名、市町23名)		
研修科目	時間	講師	
業務成績評定制度について	1.0	山口県 技術管理課 企画班 主査 中村 好希	
土木事業と埋蔵文化財	1.0	山口県 社会教育・文化財課 埋蔵文化財班 主査 谷口 哲一	
地質調査について	1.5	中国地質調査業協会 山口県支部 宇部興産コンサルタント株式会社 代表取締役 森岡 研三	
設計書の構成(業務編)	2.5	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕	
施工管理と工事検査	1.0	山口県 技術管理課 工事検査班 検査監 上山 博	
設計書の作成演習①	2.0	山口県 技術管理課 技術指導班 主任 中戸 諒 主任 濱邊 正治 (一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕	
設計書の作成演習②	2.5	山口県 技術管理課 技術指導班 主任 中戸 諒 主任 濱邊 正治 (一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕	
積算に関する質疑応答	1.0	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕	

課程名	測量・土質地質調査	研修区分	実務能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な測量及び土質地質調査に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年9月24日(木)～25日(金)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室201		
参加人員	28名(県11名、市町17名)		
研修科目	時間	講師	
測量の基礎知識	1.0	(一社)山口県測量設計業協会 (株)三建調査設計 技術部設計課 第1設計課長 水津 泰功	
測量業務の流れ ～水準測量、路線測量、用地測量～	0.5	(一社)山口県測量設計業協会 (株)田中技研コンサルタント 技術部測量課 課長 長戸 省吾 業務部 課長 藏重 友和	
測量技術に関する紹介 ・測量の新技术 ・測量作業における留意事項	0.5	(一社)山口県測量設計業協会 (株)山口建設コンサルタント 測量設計部 課長代理 貞弘 修男	
測量実習 ・トータルステーション、電子レベル、電子平板などの機器説明	4.0	(一社)山口県測量設計業協会 (株)田中技研コンサルタント 技術部測量課 課長 長戸 省吾 業務部 課長 藏重 友和 (株)三建調査設計 技術部設計課 第1設計課長 水津 泰功 (株)山口建設コンサルタント 測量設計部 課長代理 貞弘 修男	
道路計画における地質リスク上の留意事項	1.0	基礎地盤コンサルタンツ(株) 中国支社 地質技術部長 三浦 健一郎	
土質・地質調査の種類と方法(1)	1.0	基礎地盤コンサルタンツ(株) 中国支社 地盤技術部長 長谷川 勝喜 事業本部 中国試験室長 栗津 和也	
土質・地質調査の種類と方法(2)	1.0	基礎地盤コンサルタンツ(株) 中国支社 技術部長 久賀 真一	
軟弱地盤上の道路構造物に対する 土質地質上調査の事例紹介と調査計画演習	1.5	基礎地盤コンサルタンツ(株) 中国支社 地盤技術部長 長谷川 勝喜	
トンネル・斜面に対する 土質地質調査の事例紹介と調査計画演習	1.5	基礎地盤コンサルタンツ(株) 中国支社 地質部長 三浦 健一郎	

課程名	仮設工設計	研修区分	専門能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な仮設工設計に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が10年程度の職員等		
実施期間	令和2年9月29日(火)～30日(水)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室103		
参加人員	20名(県1名、市町19名)		
研修科目	時間	講師	
仮設構造物の基本	0.5	(株)荒谷建設コンサルタント 部長	構造部 佐藤 義宏
土留工の設計① ～種類・施工方法・選定～	1.0	(株)荒谷建設コンサルタント 次長	構造部 梶村 博昭
土留工設計演習問題①	1.0	(株)荒谷建設コンサルタント 部長 次長	構造部 佐藤 義宏 梶村 博昭
土留工の設計② ～設計条件・手法～	2.0	(株)荒谷建設コンサルタント 部長	構造部 佐藤 義宏
土留工設計演習問題②	1.0	(株)荒谷建設コンサルタント 部長 次長	構造部 佐藤 義宏 梶村 博昭
土留工設計演習問題③ ～掘削底面の安定～	1.5	(株)荒谷建設コンサルタント 部長 次長	構造部 佐藤 義宏 梶村 博昭
土留工設計演習問題④ ～切梁式～	3.5	(株)荒谷建設コンサルタント 部長 次長	構造部 佐藤 義宏 梶村 博昭
仮設工のトラブルと対策	1.0	(株)荒谷建設コンサルタント 部長	構造部 佐藤 義宏

課程名	地盤対策	研修区分	専門能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な地盤対策に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が10年程度の職員等		
実施期間	令和2年10月6日(火)～7日(水)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室101		
参加人員	13名(県4名、市町9名)		
研修科目	時間	講師	
軟弱地盤の概要 ・建設工事における困った地盤工学的現象 ・検討に必要な地盤定数 軟弱地盤の検討方法 ・円弧すべり、地盤沈下、液状化	2.0	復建調査設計(株) 地盤環境部 地盤環境課 主任エンジニア 主任エンジニア	芳西 秀吏 米浦 大輔
設計演習① ・円弧すべりの計算 ・解説	1.0	復建調査設計(株) 地盤環境部 地盤環境課 主任エンジニア 主任エンジニア	芳西 秀吏 米浦 大輔
設計演習② ・地盤沈下の計算 ・解説	1.0	復建調査設計(株) 地盤環境部 地盤環境課 主任エンジニア 主任エンジニア	芳西 秀吏 米浦 大輔
地盤改良工法 ・地盤改良工法の分類と特徴 ・工法紹介	1.0	復建調査設計(株) 地盤環境部 地盤環境課 主任エンジニア	米浦 大輔
対策工法の施工事例及びトラブル事例	0.5	復建調査設計(株) 地盤環境部 地盤環境課 主任エンジニア	芳西 秀吏
杭基礎の概要 ・基礎形式、杭の分類 ・検討に必要な調査	1.0	復建調査設計(株) 保全構造部 構造技術課 課長 主任エンジニア	吉田 仁司 内田 広明
杭基礎の設計 ・設計の手順 ・支持力、変位、応力	2.0		
杭基礎の工法について ・施工法の分類と特徴 ・杭の施工動画等	1.0	復建調査設計(株) 保全構造部 構造技術課 主任エンジニア	安富 泰弘
設計演習 ・杭の許容支持力 ・地盤バネ定数	2.0	復建調査設計(株) 保全構造部 構造技術課 課長 主任エンジニア	吉田 仁司 安富 泰弘

課程名	新技術・新工法	研修区分	専門能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な新技術や新工法及び建設分野の最新情報などに関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が10年程度の職員等		
実施期間	令和2年10月13日(火)～14日(水)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク セミナー室1		
参加人員	31名(県27名、市町4名)		
研修科目	時間	講師	
i-Constructionとは ～ICT活用工事の最新の動向～	1.0	山口県 土木建築部 技術管理課 主査 金輪 昭彦	
3次元計測技術	1.0	(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 サイテックジャパン(株) 石渡 博丈	
衛星測位と3次元計測技術実習	3.0	(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 サイテックジャパン(株) 石渡 博丈	
ICT建機施工	1.0	(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 サイテックジャパン(株) 石渡 博丈	
3次元設計データ作成実習	3.0	(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 (株)建設システム 前土井 章次	
3次元設計データと点群処理	1.0	(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 (株)建設システム 前土井 章次	
ICT土工の監督・検査要領について	2.0	(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 椎葉 祐士	

課程名	橋梁設計・維持管理		研修区分	独自研修
研修目的	土木技術職員として必要な橋梁設計・維持管理、診断・点検に関する知識を修得する			
研修対象者	県・市町の土木職員等			
実施期間	令和2年10月16日(金)・21日(水)～22日(木)の3日間			
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室101(16日)・セミナー室1(21日～22日)			
参加人員	17名(県7名、市町10名)			
研 修 科 目		時 間	講 師	
山口県橋梁長寿命化計画について 山口県橋梁点検要領(案)について		2.0	山口県 道路整備課 整備班 防災安全グループ 主任 橋口 大輔 主任 河原 和俊	
橋梁構造の基礎知識と構造的特徴		1.5	(一財)山口県建設技術センター 主任 帯刀 健吾	
コンクリート部材の補修・補強設計		2.5	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 西本 公治	
鋼部材の補修・補強設計		3.0	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 野村 肇	
補修・補強の設計・施工上の留意事項		1.0	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 野村 肇	
橋梁点検の着眼点及び損傷区分の判定・健全性の診断		1.5	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 西本 公治	
点検計画立案(グループ討議)		1.0	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 西本 公治 専門技師 野村 肇 専門技師 古市 潔彦 川崎 真里	
橋梁点検現場実習 ・点検作業の留意事項 ・点検計画の確認 ・点検作業のデモンストレーション ・点検現場実習		3.0	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 西本 公治 専門技師 野村 肇 専門技師 古市 潔彦 川崎 真里	
グループ討議 ・点検結果の整理、診断 ・点検結果に基づく補修対策の検討		2.0	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 西本 公治 専門技師 野村 肇 専門技師 古市 潔彦 川崎 真里	
グループ討議結果のプレゼンテーション ・診断結果 ・補修対策		1.5	株式会社長大 第2構造事業部 第5構造技術部 専門技師 西本 公治 専門技師 野村 肇 専門技師 古市 潔彦 川崎 真里	

課程名	検査実務	研修区分	実務能力研修
研修目的	土木工事の検査業務を行う上で土木技術職員として必要な知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年10月27日(火)～28日(水)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室101		
参加人員	20名(県11名、市町9名)		
研修科目	時間	講師	
業務成績評定制度について	1.0	山口県 技術管理課 企画班 主査	神崎 昭博
工事現場の安全確保について	1.0	山口県 技術管理課 技術指導班 主査	竹之内 智
施工計画書作成マニュアル	1.0	山口県 技術管理課 技術指導班 主任	中戸 諒
工事写真の撮り方と写真管理のポイント	0.5	山口県 技術管理課 技術指導班 主任	中戸 諒
土木工事書類作成マニュアルの活用と業務の効率化について	1.0	山口県 技術管理課 技術指導班 主任	吉村 崇
施工管理と工事検査	1.5	山口県 技術管理課 工事検査班 検査監	村上 竜司
工事成績評定について	0.5	山口県 技術管理課 工事検査班 主任検査監	宮原 宏夫
模擬工事検査(概要説明)	0.5	山口県 技術管理課 工事検査班 主任検査監 検査監	宮原 宏夫 村上 竜司
模擬工事検査 ・解説、講評	3.0	山口県 技術管理課 工事検査班 主任検査監 検査監	宮原 宏夫 村上 竜司

課程名	道路施設設計		研修区分	専門能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な道路施設設計に関する知識を修得する			
研修対象者	県・市町の土木職で経験が10年程度の職員等			
実施期間	令和2年11月5日(木)～6日(金)の2日間			
研修場所	山口県セミナーパーク セミナー室1			
参加人員	26名(県8名、市町18名)			
	研 修 科 目	時 間	講 師	
	舗装の設計	2.0	山口県 道路建設課 建設班 主任	鈴木 雄介
	舗装の設計(演習)	3.0	山口県 道路建設課 建設班 主査 主任 技師	島原 純 鈴木 雄介 峰 章裕
	歩道の構造とバリアフリー	0.5	山口県 道路建設課 建設班 技師	峰 章裕
	自転車通行環境整備	0.5	山口県 道路建設課 建設班 技師	峰 章裕
	交通事故対策の立案と設計	3.0	山口県 道路建設課 建設班 主査 主任 技師	島原 純 鈴木 雄介 峰 章裕
	道路附属施設の設計、演習	3.0	山口県 道路整備課 整備班 主査 主任技師	宮脇 猛弘 藏重 聡志

課程名	施工管理実務[前期]	研修区分	実務能力研修
研修目的	土木技術者として公共工事を施工管理するために必要な知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年11月10日(火)～11日(水)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク 研修室102		
参加人員	35名(県17名、市町18名)		
	研 修 科 目	時 間	講 師
	施工計画について(1)	2.0	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕
	施工計画について(2)	1.5	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕
	品質管理について	2.5	(一財)山口県建設技術センター 主任 中村 充裕
	道路工事等に伴う交通安全対策について	1.0	山口県警察本部交通部 交通規制課 警部補 岡村 彰太
	工事監督の留意事項について	2.0	山口県 技術管理課 技術指導班 主査 金輪 昭彦
	工事検査について	2.0	山口県 技術管理課 工事検査班 検査監 村上 竜司
	工事現場の安全確保について	1.0	山口県 技術管理課 技術指導班 主査 竹之内 智

課程名	予算・法令実務	研修区分	実務能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な予算及び関係法令に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年11月13日(水)の1日間		
研修場所	山口県セミナーパーク セミナー室1		
参加人員	21名(県8名、市町13名)		
	研 修 科 目	時 間	講 師
	土木技術職員のための建設業法	1.0	山口県 監理課 建設業班 主事 辻田 直樹
	契約・決算事務の流れ	1.0	山口県 技術管理課 経理班 主事 小杉 有加
	社会資本整備総合交付金の制度について	1.0	山口県 技術管理課 企画班 主査 藤本 和宏
	地方債制度について	1.5	山口県 市町課 地方債・公営企業班 主査 磯山 博
	産業廃棄物の処理について	1.0	山口県 廃棄物・リサイクル対策課 産業廃棄物指導班 主任技師 遠藤 健太

課程名	港湾実務	研修区分	実務能力研修
研修目的	港湾業務を担当する土木技術職員として必要な知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年11月18日(水)～11月19日(木)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク セミナー室1		
参加人員	12名(県8名、市町4名)		
研修科目	時間	講師	
港湾関係基本法令について	1.0	山口県 港湾課 港政班 主任 主任主事 主事	山下 大介 岸 由子 中村 和正
港湾の概要及び港湾計画について	0.5	山口県 港湾課 計画振興班 主任	磯部 淳志
海岸事業について	1.0	山口県 港湾課 事業班 主任	内藤 将宏
港湾関係災害復旧事業について	0.5	山口県 港湾課 事業班 主任	内藤 将宏
港湾事業について	1.0	山口県 港湾課 事業班 主任	谷村 洋平
港湾施設の維持管理計画について	1.0	山口県 港湾課 事業班 主任	岩本 隆正
交付金事業について	1.0	山口県 港湾課 事業班 技師	木橋 康二
事業執行の留意点について	1.0	山口県 港湾課 事業班 技師	木橋 康二
海岸保全施設の維持管理について	1.0	山口県 港湾課 事業班 技師	吉田 尚斗
構造物の設計及び演習 ・沖波の算定 ・護岸天端高の算定等	3.0	山口県 港湾課 事業班 主査 技師 技師	熊谷 聡一 木橋 康二 吉田 尚斗

課程名	斜面对策	研修区分	専門能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な斜面对策の技術に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が10年程度の職員等		
実施期間	令和2年11月25日(水)～26日(木)の2日間		
研修場所	山口県セミナーパーク セミナー室1		
参加人員	13名(県2名、市町11名)		
研 修 科 目		時 間	講 師
概要 ・研修目的と内容 ・斜面災害の種類と特徴 ・斜面災害と地形・地質特性 ・災害事例など	2.0	中電技術コンサルタント(株) 交通・都市本部 都市整備部 都市整備部長 渡辺 修士	
斜面の安定性評価 ・安定性評価の流れ ・地表踏査、地質調査 ・安定解析手法 ・地盤定数 ・検討条件	2.0	中電技術コンサルタント(株) 交通・都市本部 都市整備部 電力施設グループ グループ長 長澤 信	
設計演習 ・円弧すべり計算 ・答え合わせと解説	2.0	中電技術コンサルタント(株) 交通・都市本部 都市整備部 織田 恭平 渡辺 修士 長澤 信 向井 敬治 藤岡 義久	
斜面对策(1) ・対策工設計の流れ ・斜面对策工の種類とメカニズム ・調査 ・設計手法(アンカー、法枠)	2.0	中電技術コンサルタント(株) 交通・都市本部 都市整備部 都市施設グループ グループ長 藤岡 義久	
斜面对策(2) ・対策工の事例紹介 ・対策工実施時における施工管理 ・法面の点検/維持管理 ・法面防災	2.0	中電技術コンサルタント(株) 交通・都市本部 都市整備部 基盤整備グループ 担当課長 向井 敬治	
設計演習 ・ロックボルト工と法枠工の設計 ・答え合わせと解説	2.0	中電技術コンサルタント(株) 交通・都市本部 都市整備部 織田 恭平 渡辺 修士 長澤 信 向井 敬治 藤岡 義久	

課程名	下水道実務	研修区分	実務能力研修
研修目的	土木技術職員として必要な下水道実務の技術に関する知識を修得する		
研修対象者	県・市町の土木職で経験が5年程度の職員等		
実施期間	令和2年12月17日(木)～18日(金)の2日間		
研修場所	山口県教育会館 第1研修室		
参加人員	15名(県1名、市町14名)		
研修科目	時間	講師	
下水道の基礎知識(1) ～概要、施策等～ ～下水道行政の動向～	1.0	山口県 都市計画課 下水道班 主幹	飛渡 一敏
下水道の基礎知識(2) ～事業計画等～	1.0	山口県 都市計画課 下水道班 主任	石原 朋和
管渠設計の基礎知識	1.0	山口県 都市計画課 下水道班 技師	福原 千晶
土留め工法の選定	1.0	山口県 都市計画課 下水道班 主査	保村 守
管渠改築の基礎知識 ～更生工法の概要等～	1.5	山口県 都市計画課 下水道班 技師	神脇 悠
開削工法演習	4.5	山口県 都市計画課 下水道班 主任 技師	石原 朋和 井上 拓人
管更生工法演習	1.5	山口県 都市計画課 下水道班 主査 技師	保村 守 神脇 悠